

2023年3月稼働開始



船の一生を見守るために。

自社で建造した全ての船舶の生涯を見守りたいという思いと、近年の修繕ニーズ増加に対応するため、修繕用浮きドックを導入いたしました。

浮きドック両舷には最大25トン吊の全回転式ジブクレーンを2基備え、通常の入出渠工事の他、船体ブロック切り替えや主機換装等の大規模な修繕工事も可能です。

どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

○主要目

長さ（全長）	85.00m
（有効）	75.00m
幅（全幅）	23.00m
（有効）	18.00m
深さ	8.00m
喫水（軽荷時）	0.72m
（最大沈下時）	7.00m
入渠可能重量	D/W. 2,000トン

○主要機器

全回転式ジブクレーン	
25/15t×26/40mR	2台
入渠用ウインチ	
5/3t×15/25m/min	4台
バラストポンプ	
1200m³/h×12m	2台
バラストコントロール装置	1式

○設置場所



アクセス

<車でお越しの場合>

JR福山駅から車で約30分

広島空港から車で約60分

福山東ICから車で約30分

福山西ICから車で約40分

<バスでお越しの方>

第二工場：納鉄バス

納線 福山駅乗車

～駅車庫前下車 徒歩約3分

本瓦造船第三工場

本瓦造船第二工場

（浮きドック）

本瓦造船本社工場



Easy-to-use × Use-it-safely

DXを利用した最新の入出渠システム 「沈浮上アシストシステム」搭載

「沈浮上アシストシステム」とはDX（デジタルトランスフォーメーション）技術を利用し、バラスト注排水を自動制御することで安全性を高めた最新の入出渠システムです。

浮きドックの全バラストタンクに設置された電気式液面計と、電気式喫水計、電子トリム・ヒール計の計測結果を基に、独自の制御プログラムでバラストポンプの運転とバラスト弁の開閉を制御・注排水する事で一定の姿勢を保ち、指定した喫水まで沈下・浮上させます。



○バラストパイプ&コントロール装置

入渠船の喫水・トリムに合わせた最適な浮きドック姿勢制御を行う事で、入渠船と浮きドックが接触するなどのトラブルを未然に防ぎ、入出渠作業の安全性向上を図ります。



○引き込み用ウインチ遠隔操縦台

また、浮きドック船首中央部の遠隔操作盤で、2台の引き込み用ウインチを使用し入渠作業を行います。

ライブカメラ監視システムによる 安全な作業管理

浮きドック内に設置した18台（甲板上12台／ドック内6台）のライブカメラにより、浮きドック各所の状況をコントロールルーム、タブレット端末、陸上のPC等から、24時間体制で監視可能です。

搭載したライブカメラは人感センサー機能を持ち、作業員・来訪者の位置把握を補助します。



○コントロールルーム

業務に集中できる、快適なワークスペース

操作の要である、コントロールルームには中央壁面に大型モニターを設け、浮きドック各所のライブカメラ映像を表示。机上のPCで「沈浮上アシストシステム」を操作します。

ミーティングルームには、打ち合わせに便利な大画面TVとWi-Fiを完備しており、工事前の打合せや修繕船の監督業務の他、遠隔地とのオンラインミーティングも可能です。



○ミーティングルーム



本瓦造船株式会社
HONGAWARA SHIP YARD CO.,LTD

〒720-0202 広島県福山市鞆町後地242-1(第二工場)
TEL (084) 982-1122 FAX (084) 982-1125

